

ラスタホール

伊丹市南野字矢倉塚720-2
TEL : 0727-81-8877

●能囃子の楽しみ
～聴く、見る、触れる～

最近、日本の古典芸能に興味をお持ちの方が増えてきているようです。薪能が夏の風物詩となるなど、能への関心も高まってきていますが、狂言などと比べると「わかりにくい」という声もあるようです。そこで、「能」を音楽の面から取り上げ、囃子の音を通して、初心者の方にもわかりやすく理解していただきます。演奏をまじえたお話しや、実際に太鼓や鼓にふれて、能のおもしろさを知ってみませんか。

1月31日(日) 14:00
500円 定員/50名

●ラスタこどもコンサート
ミニオペレッタ「天満のとらやん」

みんな知っている楽しい歌や曲がいっぱい。子どもから大人まで笑わずにいられない、会場全体がほのぼのとした雰囲気にも包まれる、そんな楽しいステージです。
2月11日(祝)14:00
一般1500円
子ども(小学生以下)800円
セット券(一般1+子ども1)2000円



伊丹アイフォニックホール

伊丹市宮ノ前1-3-30
TEL : 0727-80-2110

●アイフォニック・クラシックス
『赤松二郎・サクソフォーン・アンサンブル』

日本では非常に貴重な存在一クラシックスを演奏するサクソフォーンの楽団です。10人の奏者の豊かな

な音域、音色の演奏は、サクソファンもクラシックファンも必見!

<プログラム>G線上の Aria、ベルガマスク組曲より、トッカータとフーガ ニ短調 など

1月30日(土) 19:00
一般 3000円
学生 2000円
(500円UP) ※全席自由

アイホール

伊丹市伊丹2-4-1
TEL : 0727-82-2000

●提携公演
ジャブジャブサーキット
『バクスター氏の実験』

はせひろいち率いる岐阜の劇団、ジャブジャブサーキット。活動本拠地の名古屋では追加公演が相次ぐ程の人気を誇ります。本作は、96年に愛知県により製作、はせひろいちの作・演出により上演され、今回、劇団としては初めての上演となります。クローン人間や新型ウィルスを研究する孤高の学者、七曲教授。美しく、大きな森の中にある彼の実験室に七曲の同僚研究者の遺児、郵便屋さん、自閉症ぎみの少女、様々な人間が行き交

います。そして、ある日、七曲のライバル研究者、馬の背教授の気まぐれな実験で、この世の全ての生物が消滅しかねないという問題が巻き起こって…。アイホール初登場のジャブジャブサーキットが送る、森と科学と少年の成長を編んだ空想科学ファンタジーをお見逃しなく。

4月10日(土) 15:00/19:00
11日(日) 15:00
2500円(2800円)
学生 2200円(2500円)



『まんだらごら異聞』(94年)

私・空・感 another time another place

『伊丹市民オペラの思い出』

桂直久/大阪音楽大学名誉教授・オペラ演出家

伊丹市民オペラの誕生は、今から十三年前の昭和六十年十一月十五日に、伊丹市政45周年の記念事業の一つとして伊丹市立文化会館で「フィガロの結婚」(モーツァルト)のハイライト公演だった。予算も殆ど0に近い中で、出演者は自前の衣装、セットは会館のロビーにあるついでや植木、それに楽屋の椅子やソファを持っての公演。そんなお粗末な状態でもお客様は伊丹でオペラが見られるということで、会場は満員の盛況。これを機会に是非とも伊丹の地にオペラの灯をともしようという運動が始まったのが、今の市民オペラの発祥だった。その後、「魔笛」「椿姫」「フィガロの結婚」「カルメン」「ドン・ジョヴァンニ」「ロシ・ファン・トゥッテ」と毎年オーケストラ演奏で公演を続け、伊丹市からの助成も次第に増え、市民の中に次第にオペラが定着していった。あのいまわしい阪神大震災でホールもこわれたが、来年三月には新しい「いたみホール」でオペレッタ「こうもり」(J・シュトラウスⅡ)を公演する。ご期待を。



アイホール
伊丹市伊丹2-4-1
TEL: 0727-82-2000
■JR 伊丹駅前
■阪急伊丹駅東へ徒歩10分

伊丹アイフォニックホール
伊丹市宮ノ前1-3-30
TEL: 0727-80-2110
■阪急伊丹駅北へ徒歩7分
■JR伊丹駅西へ徒歩7分

ラスタホール
伊丹市南野字矢倉塚720-2
TEL: 0727-81-8877
■阪急福野駅西へ徒歩8分
■阪急伊丹駅より伊丹市バス系統(37) 阪急塚口行
■阪急神戸線塚口駅北側出口より伊丹市バス系統(37) 阪急伊丹行ほか

いたみホール
伊丹市宮ノ前1-1-3
TEL: 0727-78-8788
■阪急伊丹駅北へ徒歩3分
■JR伊丹駅西へ徒歩8分

いたみホール

伊丹市宮ノ前1-1-3
TEL. 0727-78-8788

11ヶ月前の月の初日から7日前まで
③練習室
3ヶ月前の月の初日から当日まで
④会議室、和室、その他の施設
3ヶ月前の月の初日から3日前まで
※受付開始日初日に限り希望利用日の抽選を行います。
※詳細については伊丹市立文化会館「いたみホール」までお問合せ下さい。

アイテム'99 vol.6(通巻9号)

1999年1月1日発行
発行●(財)伊丹市文化振興財団
〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3
TEL 0727-78-8788 FAX 0727-78-8585

編集●アイテム編集委員会
デザイン●AIRS
※次号アイテム'99vol.7は4月頃に発行予定。

※文中の料金は、前売料金。()内は当日料金です。

いたみ

アイテム'99 vol.6 文化情報紙

(財)伊丹市文化振興財団

伊丹市立文化会館「いたみホール」
リニューアルオープン

昭和38年以来ながく市民に親しまれてきた文化会館が、阪神淡路大震災により閉館してから3年。平成10年11月3日、待望のオープンを果たしました。今号では、新しい文化会館の全体像をご紹介します。

「いたみホール」は、阪急伊丹駅より3分、JR伊丹駅より8分。

地上6階地下1階の外観は、ベージュの割肌タイルにガラス張り。周辺地域に残る町屋、酒造の歴史性にくわえて中心市街地の都市性にも配慮した美しいデザインです。施設はメインとなる大ホールのほか、美術展示の可能な中ホール、完全防音のリハーサル室、会議室、和室、練習室等があり、利用される方のさまざまな要求に対応できる多機能空間。もちろんバリアフリーの配慮もなされています。

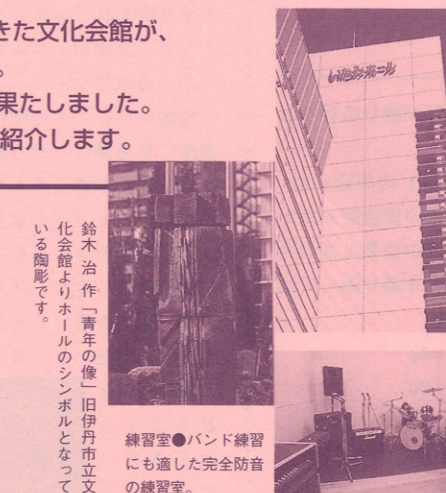
文化施設とは出会いの場・共感の場となることではじめていきいきとする空間。

いたみホールもますます多くの方からご利用をいただける運営をめざすと同時に、周辺にありますアイフォニックホール、アイホールとも連携を図り、文化ゾーンのより一層の充実をめざしますので、ぜひ足をお運び下さい。

一開かれた施設をめざして一

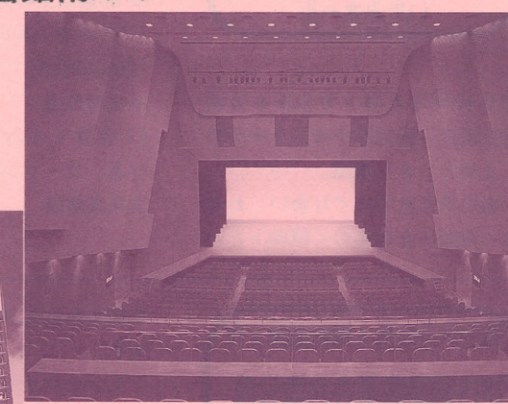
「いたみホール」の柿落しは、オルフ作「カルミナ・ブラーナ」。その劇的で迫力ある合唱は市内外より公募した210名を中心とした約300名の合唱団により実現。また、伊丹出身フィンランド在住のピアニスト、柴山直子氏によるモーツァルトピアノ協奏曲「戴冠式」により華やかにステージはオープンしました。両曲は、加藤莞二指揮、伊丹シティフィルハーモニーの演奏。

地域に密着しながら、他地域にも開かれた公演により幕を開け、お蔭様で1200名を超える方々に御高聴いただくことが出来ました。



鈴木治作「青年の像」旧伊丹市立文化会館よりホールシンボルとなった彫像です。

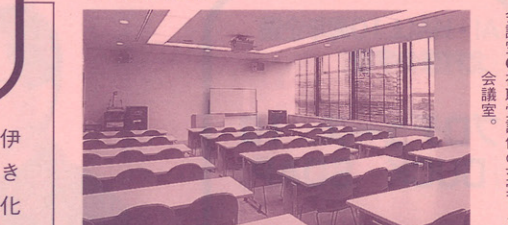
練習室●バンド練習にも適した完全防音の練習室。



大ホール●さまざまな舞台表現に対応できるよう空間・デザイン・機能性が追求された音楽と演劇の融合の場、大ホールは、音響反射板のセットにより優れた音楽ホールとなります。総客席数1202席(音響反射板セット時1062席)主舞台奥行15m、間口18m、座席間口530mm、前後ピッチ950mmの設定によるゆったりとした客席。2階席が1階席に重ならない構造であり、どの客席の音響も優れています。また、難聴の方も舞台を楽しめる補聴システムを導入しています。



中ホール●伊丹市街を一望できる2面ガラス張りの中ホールは、美術展示、ミニコンサートなど様々な可能性をもつ空間。昨年、11月15日～23日には、伊丹市ゆかりの作家による郷土美術工芸作家展を開催。



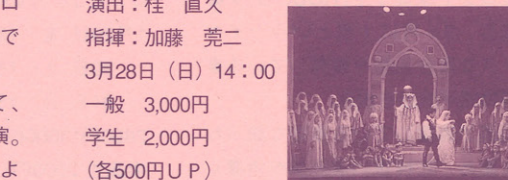
会議室●視聴覚設備の充実した会議室。

今後も3月の伊丹市民オペラ「こうもり」をはじめとして、ますます地域に密着しながら、市外の方からも参加していただける事業を目指していきます。

第13回伊丹市民オペラ
ヨハン・シュトラウスⅡ
『こうもり』
(日本語・全三幕)

震災以来、演奏会形式という形をとりながら伊丹アイフォニックホールで定期公演を続けてきた伊丹市民オペラが、リニューアルされた文化会館を舞台に本格的オペラ公演を行います。演出は、ヨハン・シュトラウスの代表作、喜歌劇「こうもり」。伊丹市民オペラでは、これまで「魔笛」「カルメン」「フィガロの結婚」など、様々な演目を楽しんく、わかりやすく上演してきました。今回の「こうもり」も、伊丹市民オペラオリジナルの台本を、関西を中心に活躍中の放送作家、相羽秋夫氏に依頼。また、看守フロッシュ役に講師の旭堂小南氏を迎え、他では少し味わえない仕上がりになる様子。市民による手作りオペラとしてスタートして、今回で13回目を迎える伊丹市民オペラ公演。例年通り、女性ソリストをオーディションにより決定し、合唱は市内在住者を中心とした市民

オペラ合唱団、演奏も、プロ・アマ混合の伊丹シティフィルハーモニーが担当します。ワルツ王ヨハン・シュトラウスの優美な音楽が随所に散りばめられた「こうもり」。お馴染みの心地よいワルツのメロディーと、夢のように華やかで楽しい夜を皆様にお送りします。
演出: 桂直久
指揮: 加藤莞二
3月28日(日) 14:00
一般 3,000円
学生 2,000円
(各500円UP)
*全席自由



震災の直前に開かれた第9回公演「魔笛」より(94年3月)

関西芸術座
「おあさん疲れたよ
-春のうららの」

田辺聖子 原作
田辺聖子のおはなし
「生きること 夢みること」(開幕前)

いたみホール

創立40周年を超える伝統ある関西芸術座は田辺聖子作品を中心的に上演してきた劇団。一組の男と女のめぐり合い、わかれ…再開…を激動の<昭和>とい

う時代を借景としてえがく本作品は、平成の今こそ新鮮で骨太なそして哀歓をもった舞台です。開幕前、田辺聖子さんのおはなし「生きること 夢みること」があります。ぜひお出かけ下さい。

1月23日(土) 14:00
一般3000円
※60歳以上の方は500円引(いたみホールのみ取扱)
(各500円UP)

※全席自由
◎取扱 いたみホール、チケットぴあ、ローソンチケット、伊丹市文化振興課

アイフォニック
地球音楽シリーズ NO. 58

ボリビアの村祭り
『大地の神パチャママに祈る』

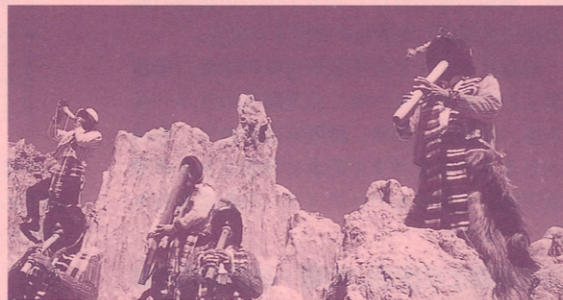
伊丹アイフォニックホール

<出演>グルーポ・パクシ・カナ
変化に富む地勢、気候の中にさまざまな人々が暮らすボリビアには、多彩でそれぞれに個性豊かな音楽が生まれてきました。アンデス高地の人々は厳しい自然の中で農耕やリヤマ、アルパカ等の放牧を行い、大自然のリズムに謙虚に耳を傾けながら暮らしています。豊かな恵みをもたらす大地の神パチャママへの儀礼には、雨季と乾季それぞれに奏でる音楽や楽器を厳しく定め、祈りとともにその「音」を捧げてきました。風土の中で培われ、暮らしと密接に関わりながら伝えられてきたこの“アウトクトナ(土着)音楽”は、村ごとに趣を変え、さまざまな



魅力にあふれています。今回は、ボリビア最大の街ラパス市のあるアンデス高地を中心に、アマゾン地帯や渓谷地帯をも含むボリビア各地の村祭りで奏でられてきた音楽を集めてご紹介します。大小さまざまなパンパイプや太鼓など20種以上にも及ぶ楽器が、村それぞれの色鮮やかな衣装に着飾った奏者たちの妙技によって野生味あふれる旋律を奏でます。
3月4日(木) 19:00
一般 3000円
学生 2000円
(500円UP)*全席自由

*当公演に連動した講演・ワークショップがあります。



AI・HALL自主企画vol.101

アイホール演劇
ファクトリー公演

アイホール



第1期生解体公演「二千一夜の夏休み」

今年で2年目となるアイホール演劇ファクトリー。お芝居をつくるには、何が必要か。演劇の「イロハのイ」から学び、第一線で活躍する演劇人達を講師に迎え、演技のみならず、音響、照明、美術など総合的に演劇に親しみ、一つの作品を作り上げていきます。昨年に引き続き、199Q太陽族主宰の岩崎正裕が演出を担当。2つのグループが、互いにスタッフと役者を交代しながら、公演が行われます。この1年間の集大成をご覧ください。3月中旬予定/詳細未定

アイフォニック民族文化サロン
“話題の地球儀” NO.68

『アンデスの暮らしと音楽』

伊丹アイフォニックホール

<講師>瀬戸順子
(広島市立大学国際学研究所)
1月11日(月)
19:00~20:30
1500円(要電話予約)
会場/小ホール1

アイフォニック・
ワークショップNO.10

『アンデスの笛
ケーナとその世界』

伊丹アイフォニックホール

<実演・指導>岸本タロー
(民族音楽の笛演奏家)
2月20日(土)
13:00~/15:30~
大人1500円
小・中・高校生700円
会場/小ホール1
※1月24日(日)午前10時より受付開始。

アイフォニック
地球音楽シリーズ NO. 59

音楽風土記
『薩摩の哀歓』

ゴッタン・天吹・
薩摩琵琶・熊襲踊り 他
伊丹アイフォニックホール

その地理的条件から、古来より南西諸島や台湾、中国などとの交流が盛んに行われてきた薩摩地方。本州や九州北部とは海や山脈によって隔離されているため、独特な民俗芸能が発展、伝承されていきました。今回は、その薩摩地方から『ゴッタン』『天吹』『薩摩琵琶』『熊襲踊り』『椎



ゴッタン(鳥集忠男氏)

AI・HALL自主企画vol.102

アイホール
中学校演劇
フェスティバル'99

アイホール

伊丹市内中学4校と高校4校が参加する演劇の祭典。4年目となる今年もハイレベルな舞台が期待されます。毎年、フェスティバルに向けて、稽古、仕込、リハーサルは綿密に行われ、「発表会」とは明ら



薩摩琵琶(伊藤政夫氏)

葉の民謡]をお届けします。板三線とも呼ばれる『ゴッタン』はこの地方に独特な楽器。人差指の爪で叩き鳴らすその音色は、草いきれの立ちこめるような素朴さがあります。『天吹』は現在7曲が伝承するのみという小型の尺八で、16世紀後半に武士たちが盛んに吹いたとか。一方江戸初期に盲僧琵琶が基となった『薩摩琵琶』は、武士の質実剛健な気風を醸成する目的で作られました。その他、宮崎県都城に伝わる豪快でユーモラスな太鼓踊りの群舞『熊襲踊り』、平家の落人伝説で有名な同県椎葉村に伝承する『椎葉の民謡』一人々の暮らしの中に息づき、大切に守ら

ラスト映画倶楽部
「黄落」

ラストホール

90代の老いた父と80代の痴呆の始まった母。そんな老夫婦を介護する還暦前後の夫婦と、その姿を見つめる若い子ども達。実体験を基にした佐江衆一さんのベストセラー小説を原作に、高齢者介護をめぐる三世家族の戸惑いと絆を見事にえがいた「黄落」は、芸術祭放送部門優秀賞など数々の賞を受けたテレビドラマを映画化した作品です。ともすれば重苦しく深刻になりがちなストーリーを、市原悦子・愛川欽也ら個性派俳優が自然体で演じ、随所にちりばめられた笑いや涙が前向きな感動を与

れてきたこれらの芸能から、薩摩の地に生きる人々の誇り、悲しみ、祈りがしみ渡ります。
3月19日(金) 19:00
一般 3000円
学生 2000円
(500円UP)*全席自由
*当公演に連動した講演があります。

アイフォニック民族文化サロン
“話題の地球儀” NO. 69

『薩摩のこころ、
風土への祈り』

伊丹アイフォニックホール

<講師>鳥集忠男
(南九州民俗芸能研究家・
鹿児島純心女子短期大学講師)

2月15日(月)
19:00~20:30
1500円(要電話予約)
会場/小ホール1

えてくれます。91歳の老父をユーモラスに演じた名優・西村晃さんは、残念ながらこれが遺作となりました。勉強会を兼ねた上映会が次々と開催されるなど、だれもが避けては通れない世代を超えたテーマに、各地で大きな反響がわき起っています。
1月24日(日)
10:00 14:00(2回上映)
一般 800円(1000円)
高校生以下及び60歳以上 600円(800円)



兵庫県立伊丹西高校「キラキラ☆ひとかけら」

AI・HALL10周年企画
「北村想の宇宙」

プロデュース. 10
『DUCK SOAP』

アイホール



東野博昭氏

アイホール10周年企画「北村想の宇宙」の最後を締めくくる本作は、関西の放送作家の第一人者で、自らコントユニット「HOBO'S」を結成し、3ヶ月に1度というハイペースな舞台活動を展開している東野博昭が演出を担当。関西で活躍している多彩な顔ぶれを集め、北村想の演劇論が色濃く

反映した『DUCK SOAP』をいかに仕上げるのか。お楽しみに。
1月29日(金) 19:00
30日(土) 15:00/19:00
31日(日) 15:00
2800円(3000円)
中高生 2000円(前売・当日共)

※文中の料金は、前売料金。()内は当日料金です。